

事業所名

放課後等デイサービスアルパカ五日市

支援プログラム

作成日

2024年

10月

1日

支援方針	個別支援として、日常生活に難しさや困難をかかえている子ども達、一人ひとりの特性や強みにもしっかり目を向け、学習・身体・情緒に対し、職員の高い専門性の基、それぞれの「できた！」という成功体験が積めるよう療育を提供しています。自己肯定感が高まるよう、暖かい雰囲気や勇気の出る声掛けを大切にしています。また集団療育では、子ども達の18歳以上を常に考え療育をします。今日一日を大切に開くのと同時に、困難を抱えた子どもたちが、将来「社会で生きていく」ことを一番の課題とし、力を注いでいます。子ども達が、自分と周りの人達との人間関係をしっかり意識し、将来、自分らしく自立した社会参加が出来るよう支援します。また、保護者が安定し勇気を出して子育てが出来るよう並走いたします。								
営業時間	平日 学校休業日	10 9	時 00 00	分から	19 18	時 00 00	分まで	送迎実施の有無	あり
支援内容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時の体温測定と感情観察により心身の状態を把握をします。 ・時間の構造化（学習→パソコン→リズムトレーニング→プログラム→遊びの流れ）で生活リズムを形成します。 ・空間の構造化（学習室・パソコン室・プログラムと遊びの部屋）で集中して活動ができるようにします。 ・視覚支援（「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示）で自ら動けるようにします。 ・ABA（望ましい行動の増加や問題行動の減少を目指す）TEACH（ビジュアルスケジュール、指示カードを使用）の療法で身体、精神、社会的訓練を行います。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士・作業療法士が適切に評価し、リズムトレーニングや体幹トレーニングを通して、日常生活に必要な基本となる姿勢保持や運動・動作の向上を図ります。 ・専門家による野球教室を通して、上肢・下肢を大きく動かす遊びや運動を実施していきます。 ・読み書きの状況に合わせ、デジタル教科書やタイピングソフトを提案し、個々にあった代替手段で学習する力をつけます。 ・書く力の調整の難しさ・音への過敏さ、他人が気になり長時間じっとしているのが難しい、といった感覚に関連する困りごとについて、適切な筆記用具・イヤーマフ・ついたてなどの補助的手段を活用します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動・パソコンソフト・プリント学習の中で、数量・形・重量・色などの概念形成を図ります。 ・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成を図ります。 ・小集団での活動や遊び・ゲームによって、認知の偏りに対して、適切な行動形成されるようSSTを実施します。 ・ハロウィンや芋ほり、クリスマスや新年会を通して、季節への興味などの感性が形成されるようプログラムを行います。 ・スケジュールボードやタイマーなどを活用し、自身が自ら自分の活動を把握し、行動できるようにします。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムや終わりの会を通して、個々の状態により、代弁・発表のひな形を利用するなどして、発表する機会を多く設け、言語表出させます。 ・友人の発表や会話に対し、適切な態度で聞き、相手の意図を理解出来るよう、言語受容を促します。 ・個々のコミュニケーション能力を適切に評価し、言語以外のコミュニケーション手段（身振りやサインなど）を選定し、特性や場面に応じた意思の伝達ができるようにする。 ・困った時に、遠慮せず、どのように困りごとを伝えるよいかを学び、正しく援助を求める力を育てます。 ・仲間と同じ関心興味をもって会話することが出来るよう、興味の幅が広がるよう環境を設定します。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を整え、人との関係を築き、その信頼関係を基盤として、安定した人間関係を形成するための支援を実施します。 ・一人遊びから並行遊び、大人が介入した遊びを通して、役割を考えルールを守った共同遊びへと遊びの育ちを促します。 ・発達段階に応じ、自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整が出来るよう支援します。 ・イベントなどを通して地域との交流の場を設定していきます。 ・進路選択時などの場面で、本人の意向・保護者の意向、本人の実態など、必要かつ多様な情報を整理し、寄り添った対応で並走します。 							
家族支援	家庭内外で子どもの育ちでの困りごとの相談や、子どもの発達特性に関する情報提供など、保護者の心の安定を図れるよう面談の機会などを通し援助を行います。保護者が勇気を出して子育てが出来るよう寄り添い支援します。	移行支援			本人や家族の意向や現状を踏まえ、進路選択や将来、地域でどのような生活を送るかを具体的に考えることが出来るよう、各連携機関と子どもの様子や支援方針について情報共有します。				
地域支援・地域連携	事前の承諾を得た後、学校や各機関と連携し、情報共有の他、個別支援計画の作成・合理的配慮の活用等の環境調整を行います。また、地域で生きていくことを意識できるよう地域の形との関わりも設定します。	職員の質の向上			社内外の研修への積極的な参加の他、事業所での定期的な研修、毎日の職員会議で、子どもの困り感への理解を深めたり、新しい支援方法を共有し、職員の質の向上を図ります。				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・祝日や長期休暇等にはイベントを開催。博物館訪問、企業見学、果物狩りなど。 ・季節を感じる行事を開催。新入生歓迎会。夏祭り。ハロウィン。クリスマス会。新年会。節分の会。卒業式など。 ・ピアサポートを兼ね、同窓会の開催。 								